



# ともそだち通信 No.33 ウミガメのたまご7月号 平成25年度

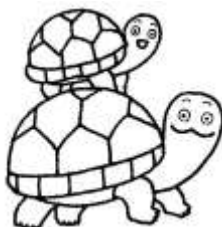
発行：日立市教育委員会生涯学習課 家庭教育サポーター  
問い合わせ先：0294-23-9157

## ともそだち…

親と子が共に育ちましょう  
親と親も共に育ちましょう  
サポーターも共に歩みます

## ウミガメの赤ちゃん

日立市の河原子海岸で、アカウミガメが卵を産みました。  
早朝、海に帰っていくウミガメに気付いた男性が大洗水族館に知らせました。  
卵の数は127個。  
水族館で人工ふ化させ、順調にいけば8月10日頃に生まれます。  
赤ちゃんウミガメは、その後、河原子海岸から海に帰されるそうです。  
アカウミガメは生れた砂浜で産卵することがあり、  
日立市がふるさとだったのかもしれませんが。  
ウミガメのママ、お疲れさまでした。  
赤ちゃんたちが大きく育つのが楽しみです。



## 子どもの育ちとママのサポート

### — 親子ですすめるしつけと生活習慣 —

ママのためのリフレッシュ講座での、講演の一部をご紹介します。  
講師は、神永直美先生（日立家庭教育センター・茨城女子短期大学教授）でした。

乳幼児期はしつけや生活習慣を身に付けさせたい時期です。しかしその頃の子どもは、自分が興味を持ってやったことのなかでしか、学べない時期でもあります。興味・関心は「まねしてみたいな」と思うところから始まります。そしてまねしたい気持ちは、「心地よさ」がキーワードです。

心地よさとは、安心感や安定の気持ちと言い換えてもいいでしょう。心地よい場面は、授乳やおむつ替えの声かけを始め、おんぶや抱っこで息が合って眠ったり、子守唄の心地よさ、絵本では一緒に見る心地よさ、いないいないばあには出会いの心地よさ…と、生活のなかにたくさんあります。

また、ヨシヨシと子どもをあやすことは日本のいい文化です。関わられる心地よさ、共感の心地よさがあり、共感の根っこが育つのがあやしの文化です。くすぐって一緒に笑うことは、ノリが合う心地よさがありますね。

子どもは心地よさをいっぱい味わうと、安心感のなかで何かやってみたい気持ちが生まれます。大人やお友だちのまねをしたい気持ちをうまく捉え、「一緒にやってみようね」としつけを始めてみてはいかがでしょうか。



## おしゃべりテレフォンに、お電話ください



「みんなと同じことができないのですが…？」  
「ママべったりで、離れてくれないんです…」  
「お友達をたたいたり、押したりするので困っています」

など、子育てについて、  
ちょっと聞いてみたいことはありませんか？  
家庭教育サポーターが答えたり、一緒に考えたりします。

おしゃべりテレフォン

0294 23-9157

毎週水曜日 9:00~17:00